

町ホームページ内でも  
町の話題を紹介しています  
ので、ぜひご覧ください。



# まちのわだい

## 五穀豊穡を祈願する 「火振り祭」

8月14日(金)・15日(土)に上野田と里口で「火振り祭」が行われました。

当日の昼間に「ほいのこ」と呼ばれる子どもたちが、集落内を回ります。締太鼓の音が祭の開催を知らせると、夜に向けてだんだんと熱気が高まります。



夕方になると五社神社の拝殿で盃の儀が行われます。その後、人々は3mほどの松明にかがり火から火をともし、日野祭の神子3人を中心に行列をつくって雲雀野へと向かいます。子どもたちほいのこは、松明が燃えすぎないように「バンバラ竹」と呼ばれる竹

で力いっぱい叩きます。雲雀野では、かけ声とともに松の木をめぐって松明が投げ上げられます。松明が松の木の上にたくさん掛かるとその年は豊作とされています。



## 国際交流イベント 「陶芸を楽しみながら 日本語で交流しよう」

8月22日(土)、外国人と日本人が「ともだち」になる交流イベントの第1回「陶芸を楽しむながら日本語で交流しよう」をわたむきホール虹の美術工芸室で開催しました。当日は、外国人11名と日本人8名が参加し、陶芸を通して交流を深めました。



参加者からは「母国にも陶芸に似たものがあるけれど、今回初めて体験した」「去年の氏郷まつりで浴衣体験と盆踊りをしたときのひと、また出会えてうれしい」といった声も聞かれ、参加者同士、やさしい日本語で会話しながら交流しました。

このイベントは、町内在住・在勤の日本人と外国人がさまざまなテーマで交流し、お互いを身近に感じてもらうことを目的に開催しています。興味のある方は、お気軽にお問い合わせいただき、次回の「多文化交流広場」にぜひご参加ください。



町ホームページ  
多文化交流広場

## 子育てサロン合同イベント 「ジャスパークたきぐちさんの わくわくショー」

8月26日(水)、町内の未就園児親子を対象とした子育てサロンの合同イベントとして「ジャスパークたきぐちさんのわくわくショー」が必佐公民館で開催され、17組の親子が参加しました。



当日は、わくわくするマジックが披露され、子どもたちがマジックのお手伝いをする場面もありました。会場は笑顔と歓声に包まれ、親子で楽しいひとときを過ごしました。

日野町では、各地区の公民館を会場に「子育てサロン」を開催しています。子育て中のお母さんたちが、サロン



お母さんたちが、サロンスタッフとして地域の皆さんと一緒に、楽しい催しを企画されています。お住まいの地区に関わらず、町内どのサロンにも参加できます。



町ホームページ  
子育てサロン紹介

# ひのっこだより

町内の幼稚園や保育所・こども園、小・中学校での子どもたちの様子や特色ある取り組みの内容を紹介していきます。

## 必佐幼稚園

3歳児11名、4歳児17名、5歳児19名、計47名の子どもたちが元気いっぱい笑顔いっぱいで通園しています。子どもたちの「やってみたい!」という気持ちや「できた!おもしろい!もっと!」という意欲の芽生えや育ちを大切にしています。

幼児期の子どもは遊びが仕事。保護者の皆さんや地域の方々に支えていただきながら、いっぱい遊んで、いっぱい話して、いっぱい頭も体も動かして、子どもたちは心も体も大きくなっていきます。

### 【教育目標】

わくわく にこにこ のびのび 遊ぶ必佐っ子の育成

やってみたい!



5歳児憧れの自転車教室に参加しました。

もっと!もっと!



「何にしますか?」お店屋さんごっこ、大好き!

できた!できた!



友達と一緒に、すごいものができたね。



消防音楽隊のすばらしい演奏にワクワクしました。初めて見る楽器にも興味津々です♪



みんなが使うプール、ピカピカにしよう!ばくたちに任せて!



きれいな色の絵の具でスタンプ遊び。夢中でポンポン押して楽しんでいました。

## 南比都佐小学校

学習がすき・友だちがすき・自分がすき・南比がすき

「なんぴがすき」な子どもを育てるために  
～地域とともに子どもを育む～

本校の強みは、学校運営協議会、公民館、安全ボランティアなどの地域の応援団が常に子どもたちを見守り、学習をサポートしてくださっていること。

今年は「なんぴ子ども応援団」のチラシを全戸に配布され、新たな地域の応援団を募集しています。今後も地域の皆さんとともに子どもたちの学びをサポートし、社会で生きる力を育んでいきたいと思っています。



### 日野菜カリキュラム

毎年4・5年生が「深山口日野菜原種組合」のご指導を受け日野菜の原種を保存し栽培する「日野菜プロジェクト」の活動に取り組んでいます。採取した種は、校内音楽会や公民館で販売していますが、今年度はさらにわたむきホール虹での「ひのっこマナビ万博」で販売させていただくことができました。

2学期には採取した種を使って全校児童が日野菜を育てて収穫し、日野菜漬を作りします。「キムチ漬け」や「だし醤油漬け」などのアレンジもあり、4年生は日野菜を使ったレシピも考案して、レシピ集を作るなど、いろいろな取り組みを進めています。

### 田んぼの子の取り組み

地域の方の田んぼをお借りして、2年生と5年生が田植えと稲刈りの体験をしています。地域サポーターと保護者約10名の方が参加して子どもたちとともに活動してくださっています。昨年度は、稲刈り前に鹿の食害を受け、今年は「獣害防止柵」を地域の後援会の方の補助で購入しました。7月には田の中干し前の溝切りも見学しました。今年の秋は大豊作を願っています。

収穫したお米は、調理実習で活用するほか、南比都佐公民館の文化祭で5年生が販売しています。また「お米パーティー」を開催し、田んぼの子でお世話になった方に食べていただいています。



### 「地域の人が子どもの学びをサポート」

地域の方には、さまざまな学習にご協力をいただいています。昨年度より、マラソン大会に向けての試走や、本番には「コースの見守り隊」の活躍で、どの子ども安全に走り切ることができました。

また、1年生の「日野菜の漬物作り」「昔遊び体験」の指導、2年生の「かけ算」「字探検」、3年生の「町探検」、4年生の「森林環境学習」「防災学習」、5年生や6年生の「裁縫教室」「ミシン教室」などで、地域の皆さんのサポートがあります。これからも地域のみなさんとともに南比都佐小学校の子どもたちの学びを支えていきたいと思っています。

問 子ども支援課 子ども支援担当 ☎ 0748-52-6583 教育委員会事務局 学校教育課 ☎ 0748-52-6564